

③ 日本国特許庁 (JP)

① 実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭59—167842

Int. Cl.<sup>8</sup>

E 02 D 29/02

識別記号

1 0 3

庁内整理番号

7505—2D

④ 公開 昭和59年(1984)11月10日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑥ 同知ブロック

金沢市北安江町609番地1株式  
会社福井鉄工所内

⑦ 実 願 昭58—61400

⑧ 出 願 人 株式会社福井鉄工所

⑨ 出 願 昭58(1983)4月22日

金沢市北安江町609番地1

⑩ 考 案 者 大西智

⑪ 代 理 人 弁理士 西孝雄

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

間知ブロック

### 2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 矩形の面板と控板とを柱状体によって連結一体化した形状を有するコンクリート製間知ブロックにおいて、面板及び控板の一側縁の中央部内方にその側縁面より突出する段面を有する突出部が設けられており、この段面がこのブロックの前記側縁に隣接させて設置される同一形状のブロックの凹部における面板及び控板の内法面に嵌合されることを特徴とする、間知ブロック。

(2) 前記段面が、部分円筒面ないし部分裁頭円錐面である、実用新案登録請求の範囲第1項記載の間知ブロック。

### 3. 考案の詳細な説明

この考案は、法面の崩壊を防止する為に法面に沿って積み上げられて擁壁<sup>V</sup>を構築する際に用いられる間知ブロックの改良に関するものである。

従来、間知ブロックとしては第1図及び第2図

に示すような形状のものが一般的であり、第4図及び第5図に示すように土地の法面に沿って積み上げられて土砂1の崩壊を防止する擁壁2が構築される。ここで3、4は単位の間知ブロックであり、第2図及び第5図に示すブロック4は矩形の面板5と控板6とを柱状体7で連結一体化した構造を有しており、第1図及び第4図に示すブロック3は面板5と柱状体7のみからなるものである。8は積み上げられたブロック3、4の空所に打ち込まれた閉込めコンクリートである。

控板6を有していない間知ブロック3は、ブロックのみを積み上げて行く（空積みする）ことができないので、ブロック3・・・3の空所に閉込めコンクリート8を流し込んでこれを固化させながら1段ずつ積み上げる必要があり、施工に手間がかかるという欠点がある。これに対して控板6を有する間知ブロック4は、ブロックを複数段空積みした後その空所に閉込めコンクリートを流し込んで固化させるという施工方法を採用することができ、施工を能率良く行うことができる。ところ

がこのような控板 6 を有するブロック 4 であっても、空積み時にはブロック 4 …… 4 相互が面板 5 と控板 6 との側縁面において単に当接して載置されているだけであるから、ブロック 4 …… 4 を正確に積み上げるのに細心の注意を必要とし、駒込めコンクリート 8 の打ち込み時にブロックが移動して隣壁面に出入りが生じ易い欠点があった。また、このようなブロック 4 は、柱状体 7 と控板 6 との連結部に応力が集中して当該部分が破損しやすく、駒込めコンクリート 8 とブロック 4 との付着が悪いとこの部分が破断してブロックが土圧によって隣壁面から突出してくる欠点があった。

空積み時のブロック相互のずれを防止する為に、第 3 図に示すように、面板 5 及び控板 6 の側縁にインロウ 9 を設けたものも知られているが、このようなインロウ 9 を設けると面板 5 側縁部の肉厚が薄くなって破損しやすくなり、このようなブロックでは湾曲した隣壁を構築することができないという問題が生ずる。

この考案は、このような従来の周知ブロックの

問題点を解決する為になされたもので、簡単な構造でかつブロックの強度を損ねることなく空積み時におけるブロック相互の位置ずれを確実に防止することができる間知ブロックを提供することを目的としてなされたものであり、更に、ブロックの柱状体と控板との連結部が破断した場合にも土圧によるブロックの突出を防止することができ、湾曲した擁壁を構築することも可能にすることができる間知ブロックを提供しようとするものである。

即ちこの考案の間知ブロックは、第 6 図及び第 7 図の実施例に示すように、ブロック 10 a、10 b の面板 5 及び控板 6 の一側縁 11、12 の中央部内方にその側縁面 13、14 より突出する段面 15、16 を有する突出部 17 が設けられており、この段面 15、16 がこのブロック 10 a、10 b の前記側縁 11、12 に隣接させて設けられる同一形状のブロックの隅部における面板及び控板の内法面に嵌合されることを特徴とするものである。尚、第 6 図は本考案の第 1 実施例を、第

7図は第2実施例を示したものであり、両者においてその破線の異なる部分には符号に添字a, bが付されており、本明細書中、両者に共通の構成及び作用を説明する際には当該添字a, bを省略した。

第8図(a)は間知ブロック10a, 10bによって構築された擁壁面を示す正面図、同図(b)は空積みされた間知ブロック10a, 10bの面板5を切除して示した断面正面図である。第8図においてある単位ブロックAに着目した場合、このブロックAは自身の突出部17の段面15, 16とその上部に積み上げられたブロックB, Cの面板5及び底板6の隅部内法面との嵌合によって該ブロックB, Cと係合し、ブロックAの面板5及び底板6の下方隅部はこのブロックAの下方に位置するブロックD, Eの突出部17の段面15, 16と嵌合して該ブロックD, Eと係合し、更にこれらのブロックB, C, D, Eを介して相隣るブロックF, Gと係合しているから、この単位ブロックAはこれを取り巻く隣接のブロックB

ないし G と相互に係合されることとなり、これらの係合によってブロック積み上げ時におけるブロック相互の位置決めが容易に行われて該作業を短時間で行うことができるようになり、胴込めコンクリート投入時等においてもブロック相互の位置ずれが生ずる虞は全くなくなる。また、ブロックの強度が低下したりブロックの形状が複雑となって成形が困難になる虞も全くない。

更に第2実施例に示すように、突出部 17b の段面 15b、16b を部分円筒面ないし部分裁頭円錐面としてやれば、第9図に示すように上下に相隣るブロックを角度をもたせて設置した場合にも、段面 15b、16b と面板 5 及び控板 6 の隅部とを嵌合させることが可能となり、ブロック 10b 相互に係合させながら湾曲した擁壁を構築することも可能となる。この場合、前記部分円筒面ないし部分裁頭円錐面の半径は、大略面板 5 と控板 6 との内法間隔に等しい。構築される擁壁の湾曲が突方向である場合には、控板 6 の長さ L を面板 5 の長さ W より短かくする必要があるが、この

控板 6 の長さの調節はブロック 10 b 成形用の型枠の空所に適宜込物を入れることによって容易に行うことができる。

更にこの第 2 実施例のブロック 10 b は、その突出部 17 b の中央部に凹部 18 が設けられているが、このような凹部 18 を設けてやれば、第 10 図に示すように、駒込めコンクリート 8 がこの凹部 18 にも進入してたとえ控板 6 と柱状体 7 との連結部分が破断してもブロックが突出してくることのない構造とすることができる。

以上のように本考案の間知ブロックは、簡単な構成によって積み上げられたブロック相互に係合されて位置ずれを生ずることがないようにしたものであり、このブロック相互の係合によってブロック相互の位置が規制されるから、ブロック積み上げ時における位置決めが容易で作業を容易迅速に行うことが可能となる。

更に第 7 図に示す実施態様を採用することにより、ブロック相互に係合させた状態で湾曲した模様を構築することも可能であり、ブロックの破折



による擁壁面からのブロックの突出を防止すること  
も可能であるという優れた効果を得ることがで  
きる。

#### 4. 図面の簡単な説明

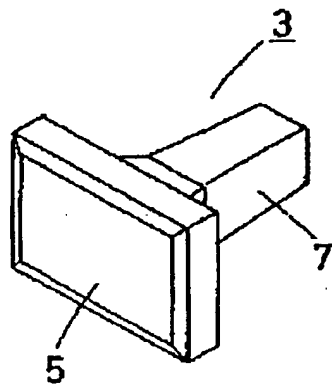
第 1 図及び第 2 図は従来の開知ブロックを示し  
た斜視図であり、第 4 図及び第 5 図はこれらを積  
み上げて構築された擁壁の断面を示した図である。  
第 3 図は空積みされたブロック相互の位置ずれを  
防止するインロウを設けた従来の開知ブロックを  
示す斜視図である。第 6 図は本考案の開知プロ  
ックの第 1 実施例を示す斜視図、第 7 図は第 2 実施  
例を示す斜視図であり、第 8 図 (a) は開知プロ  
ックによって構築された擁壁の正面図、同図 (b)  
は本考案の開知ブロックを空積みした状態をプロ  
ックの面板を切除して示した断面正面図、第 9 図  
は第 2 実施例のブロックによって湾曲した擁壁を  
構築する際のブロック相互の関係を示す平面図、  
第 10 図は第 2 実施例のブロックによって構築さ  
れた擁壁の部分断面図である。

図中、5 は面板、6 は控板、7 は柱状体、10

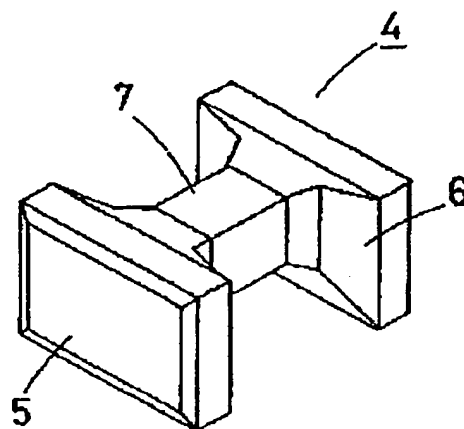
は間知ブロック、11, 12は一側縁、13, 14は樹縁面、15, 16は段面、17は突出部である。

代理人 弁理士 西 孝雄

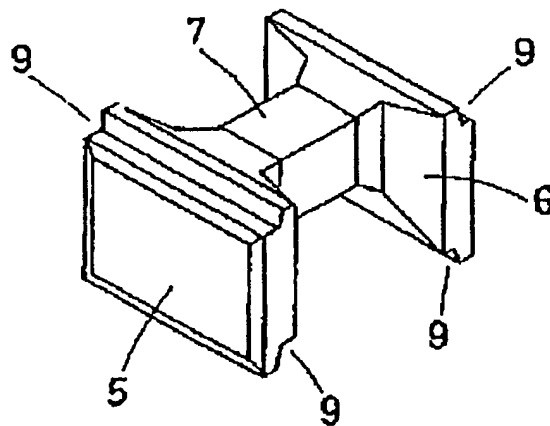
第 1 図



第 2 図



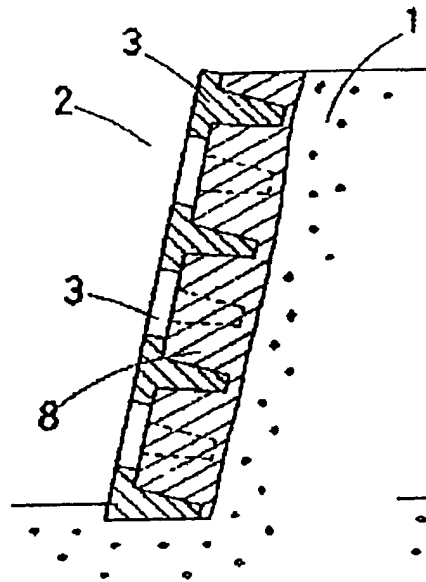
第 3 図



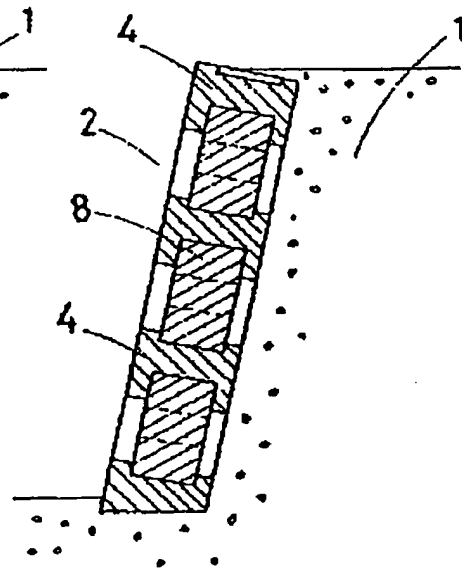
実用 167842

代理人 弁理士 西 孝 雄

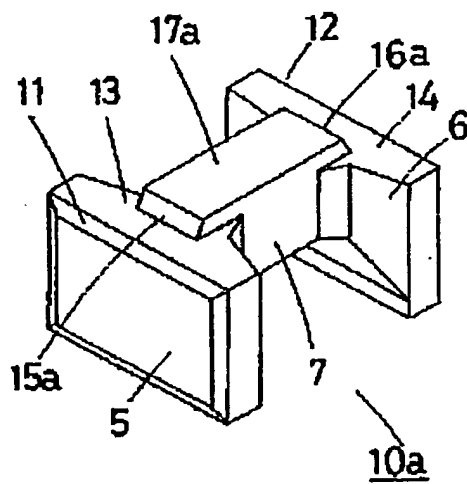
第 4 圖



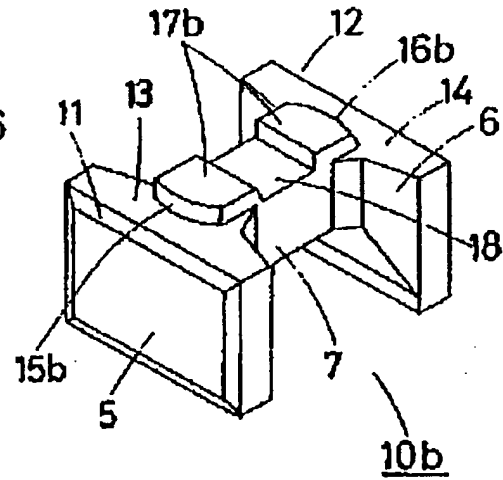
第 5 圖



第 6 圖

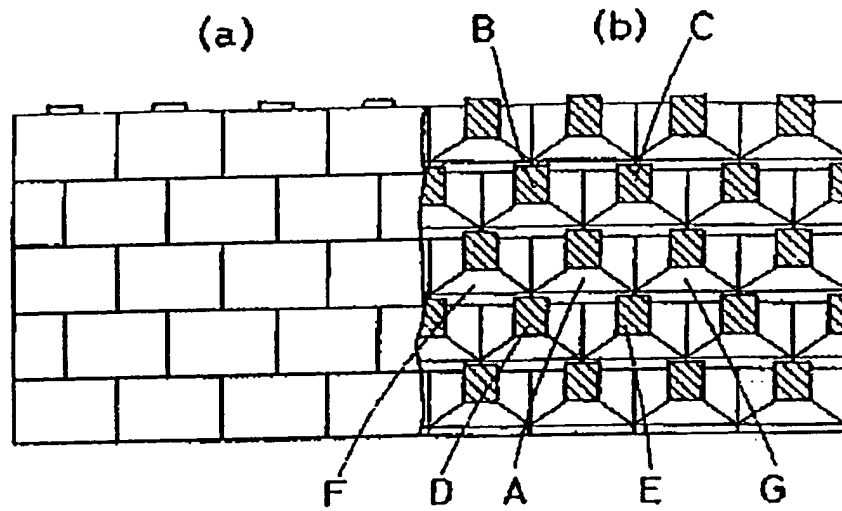


第 7 圖

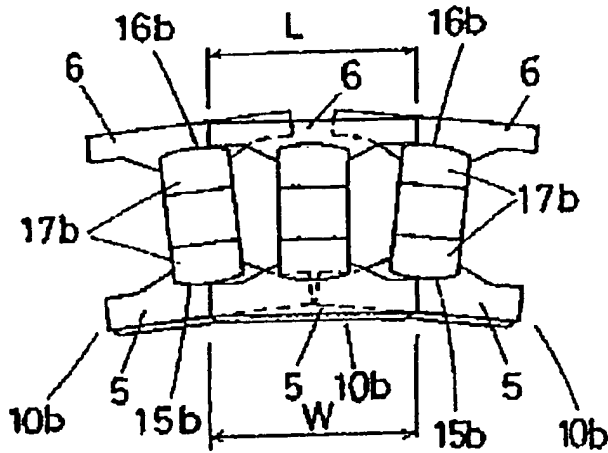


代理人 弁理士 西 孝 雄

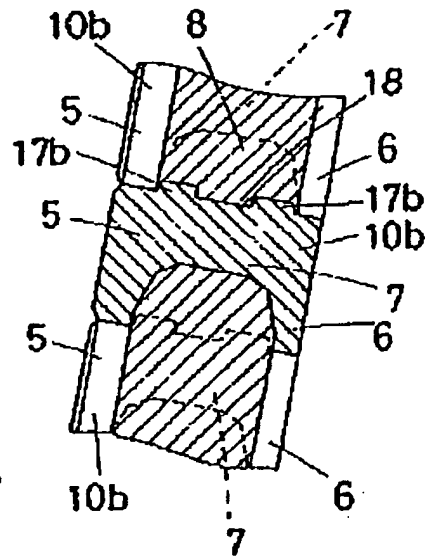
第 8 図



第 9 図



第 10 図



代理人 弁理士 西 孝 雄

特許第 167842 号

JP UNEXAMINED UTILITY MODEL PUBLICATION 59-167842

Date of Publication: November 10, 1984

Int. Cl<sup>3</sup>.: E 02D 29/02

Date of Application: April 22, 1983

Inventor(s): Satoru ONISHI

Applicant(s): KABUSHIKI KAISHA FUKUI TEKKOJO

1. Title of the Invention

KENCHI BLOCK

2. CLAIMS

(1) A concrete Kenchi block having a rectangular face plate and a support plate integrally connected by a beam, the block being characterized by:

a projection, which has step surfaces, located inward from the middle of an end of the face plate and the middle of an end of the support plate, wherein the projection projects from end faces of the face plate and the support plate and wherein the step surfaces are fit between inner corner surfaces of a face plate and a support plate of an identical, adjacent block.

(2) The Kenchi block according to claim 1, wherein the step surfaces are partial, cylindrical surfaces or partial, truncated conical surfaces.

3. Detailed Description of the Invention

The present invention relates to Kenchi blocks that are stacked along an inclined plane to form a wall.

Figs. 1 and 2 show typical shapes of prior art Kenchi blocks. As shown in Figs. 4 and 5, the blocks are stacked along an inclined plane of earth to form a wall 2 preventing soil 1 from sliding down. Reference numerals 3, 4 each denotes a unit of a Kenchi block. Each of the blocks 4 shown in Figs. 2, 5 has a rectangular face plate 5 and a support

plate 6, which are integrally connected by a beam 7. Each of the blocks 3 shown in Figs. 1, 4 includes a face plate 5 and a beam 7. Reference numeral 8 denotes concrete filled in the space between the stacked blocks 3 and in the space between the stacked blocks 4.

The blocks 3, which do not have the support plates 6, cannot be stacked alone (upon each other with empty space in between). Therefore, it is necessary to fill concrete 8 between the blocks 3 and solidify the concrete 8 before stacking the next row of blocks. This requires much time and effort. Contrarily, multiple rows of the blocks 4, which are provided with the support plates 6, may be stacked upon each other before filling the space between the blocks with concrete and solidifying the concrete. This enables efficient construction. However, the blocks 4 with the support plates 6 have a shortcoming in that careful attention is needed to accurately position the blocks 4 when stacking the blocks 4 without filling the space therebetween. This is because the blocks 4 only contact each other only at end faces of the face plates 5 and support plates 6. In addition, recesses and projections may be formed in the wall due to displacement of the blocks when filling the concrete 8. Further, in such blocks 4, stress may concentrate and break connecting portions between the beams 7 and the support plates 6. If there are portions in which adhesion between the blocks 4 and the concrete 8 is insufficient, such portions may break. Consequently, the blocks at such portions may be pushed out of the wall by the force produced by the soil.

A block provided with flanges 9 extending from the ends of a face plate 5 and a support plates 6, as shown in Fig. 3, prevents displacement of the blocks when stacking the blocks without filling the spaces in between. However, providing

such flanges 9 decreases the thickness and, hence, the strength of the end of the face plate 5. Further, a curved wall cannot be formed with such block.

This invention solves the above-described problems of the conventional Kenchi blocks. Accordingly, it is an object of the present invention to provide blocks that have a simple structure and prevent, without decreasing the strength of the blocks, displacement when stacking the blocks without filling the space between the blocks. It is another object of the invention to provide Kenchi blocks that are prevented from being pushed out by the force of soil even when the connecting portions between the beams and support plates of the blocks are damaged and that can be used to form a curved wall.

The Kenchi blocks according to the present invention are each provided with a projection 17 having step faces 15, 16, as shown in Figs. 6, 7. The projection 17 extends between the middle of an end face 13 of an end 11 of a face plate 5 of each of blocks 10a, 10b and the middle of an end face 14 of an end 12 of a support plate 6 of each of the blocks 10a, 10b. The step surfaces are fit between inner corner surfaces of a face plate and a support plate of an identical adjacent block. Figs. 6, 7 respectively show a first embodiment and a second embodiment according to the present invention. Reference alphabets a, b in Figs. 6, 7, respectively, denote differing portions in the first and the second embodiments, but are omitted in the specification.

Fig. 8(a) is a front view showing a wall formed by Kenchi blocks 10a, 10b. Fig. 8(b) is a cross-sectional front view showing the blocks 10a, 10b without surface plates 5. Fig. 8 shows block A, which includes a projection 17 having step surfaces 15, 16. The step surfaces 15, 16 of block A is fit between the inner corner surfaces of the face plate 5 and



the support plate 6 in blocks B, C, which are stacked above block A. This engages block A with blocks B, C. The lower corners of the face plate 5 and the support plate 6 in block A are fit to projections 17 of blocks D, E, which are located under block A. This engages block A with blocks D, E. Block A is further engaged with adjacent blocks F, G by means of blocks D, E. Thus, block A is engaged with every surrounding block B-G. The engagement facilitates the positioning of the blocks relative to each other when stacking the blocks and enables the stacking to be performed within a short period of time. Further, the blocks are not displaced when filling concrete. In addition, the strength of the blocks does not decrease and the shape of the blocks remains simple. Thus, the blocks do not complicate molding.

In a second embodiment, the surface steps 15b, 16b of projection 17b are partial, cylindrical surfaces or partial, truncated conical surfaces. As shown in Fig. 9, this enables the steps 15b, 16b to fit between corners of the face plate 5 and the support plate 6 when lower and upper adjacent blocks are arranged at certain angles as shown in Fig. 9. Therefore, a curved wall can be formed by mutually engaging the blocks 10b. In this case, the radius of the partial, cylindrical surfaces or the partial, truncated conical surfaces is substantially equal to the distance between the inner surfaces of the face plate 5 and the support plate 6. To curve the wall outward, it is necessary that the length L of the support plate 6 be shorter than length W of the face plate 5. However, the length of the support plate 6 can easily be adjusted by properly placing a filling in a cavity of a mold used to produce the block 10b.

As shown in Fig. 10, each of the blocks 10b of the second embodiment has a recess 18 provided in the middle of its projection 17b. Such recess 18 prevents each block from

being pushed outward even if a connecting portion between the rear plate 6 and the beam 7 breaks since the concrete 8 fills the recess 18.

As described above, the blocks of the present invention engage stacked blocks and prevent displacement of the blocks with the simple structure. The relative positions of the blocks are restricted by the mutual engagement of the blocks. Thus, the positioning of the blocks when staking the blocks is facilitated and performed within a short period of time.

The embodiment shown in Fig. 7 has the following advantages. A curved wall is formed by engaging the blocks. The blocks are prevented from jutting out from the wall even if the blocks are damaged.

#### 4. Detailed Description of the Drawings

Figs. 1, 2 are perspective views showing prior art blocks. Figs. 4, 5 are cross-sectional views showing walls formed by stacking the prior art blocks. Fig. 3 is a perspective view of a prior art block provided with flanges for preventing displacement of the blocks. Fig. 6 is a perspective view showing a block according to a first embodiment of the present invention. Fig. 7 is a perspective view of a block according to a second embodiment of the present invention. Fig. 8(a) is a front view of a wall formed by the blocks of the present invention. Fig. 8(b) is a cross-sectional front view showing the blocks 10a, 10b without surface plates 5. Fig. 9 is a plan view showing mutual relations of the blocks of the second embodiment forming a curved wall. Fig. 10 is a partial cross-sectional view of the wall formed by the blocks of the second embodiment.

#### Detailed Description of Reference Numerals

5---face plate, 6---support plate, 7---beam, 10---Kenchi block, 11 and 12---end, 13 and 14--- end face, 15 and 16---

step surface, 17---projection

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**